

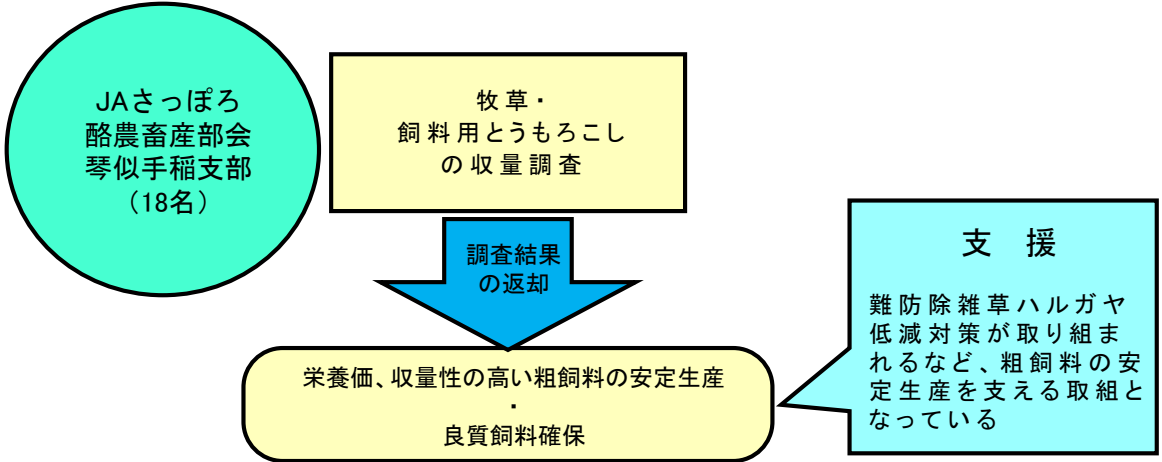
飼料作物の安定生産

牧草・飼料用とうもろこしの収量調査と情報提供

活動年次：令和4年

石狩農業改良普及センター石狩北部支所

1 課題設定の背景 *****



2 活動の経過 *****

6月 牧草の収量調査
(支部会員の草地12か所)

生育ステージはオーチャードグラスが出穂期～開花始、チモシーが穂ばらみ～出穂期で、支部会員の一番草刈り取りが始まる中での調査となった。収量は平年を下回り圃場間差は大きい。なお、その後の降雨により、収穫は遅れた。



写真1 貴重な情報交換の場
牧草収量調査にて部会の皆さん

9月 飼料用とうもろこしの収量調査
(3か所)

デントコーンの生育はほぼ順調に進み、8月下旬～9月上旬の低温傾向で登熟が緩慢となったが、茎葉重・子実重とも平年を上回った。

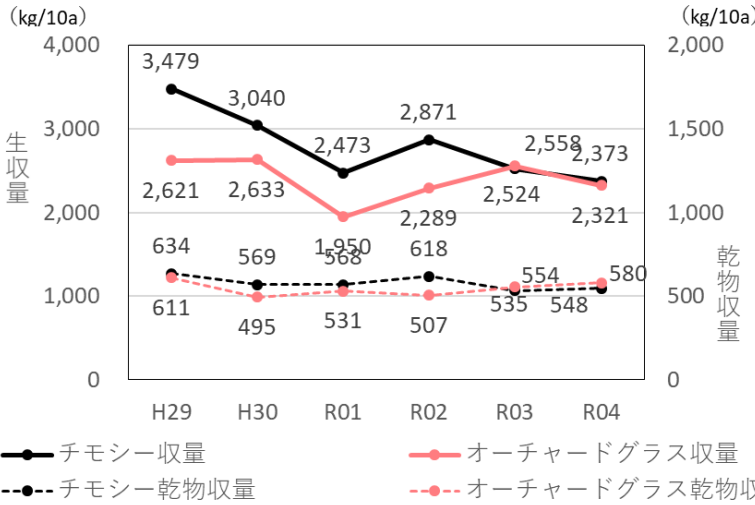


写真2 飼料用とうもろこし収量調査
で草丈の確認

2月 情報提供
(収量調査結果の総括の配布)

3 活動の成果

牧草収量の推移（草種別平均 H29～R04）



牧草収量調査を継続することにより、ハルガヤ、ギンギシ等の難防除雑草の対策が取り組まれ、収量・品質の維持向上が図られた。

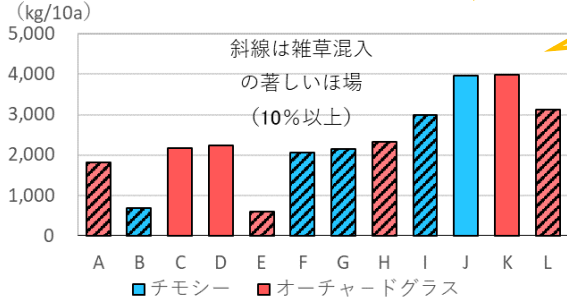
畜産クラスター事業で機械導入・草地更新（平成30～令和2年）

草地更新してよかったー

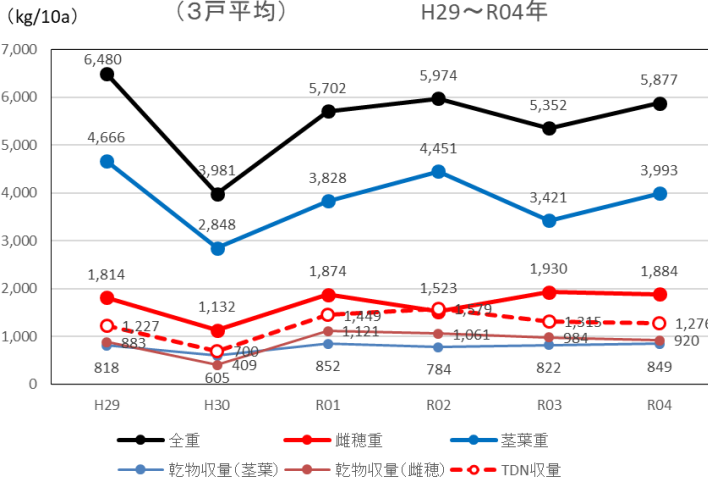
うちもそろそろ...

改善はまだ途上で、ほ場差は大きい。

各ほ場の1番草収量（R04）



JAさっぽろ酪農畜産部会とうもろこし収量調査（3戸平均） H29～R04年

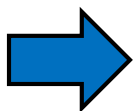


新畑の状態と品種選択がうまくいったようだ

早生の品種で収量は安定けどもう少し欲張っても大丈夫かな...

4 今後の活動

収量調査支援により飼料作物ほ場の状態を把握



ハルガヤ、ギンギシ等の難防除雑草の低減 草地更新の推進

施肥量・施肥時期など 施肥改善